

授業アンケートの結果（令和3年度）

今年度の「授業アンケート」の集計の結果につきましてご報告いたします。

保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、ご回答をいただきましてありがとうございました。

① アンケート回答率：84.6%（前年度比-4.8ポイント） ② 評価対象教員数：23名

1.お子さまは授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていますか。 【興味・関心・意欲の向上】	43.2%	37.6%	9.0%	2.8%	7.4%
2.お子さまは、授業の内容が分かるようになっていますか 【学習内容の習得】	49.4%	33.6%	7.4%	2.4%	7.2%
3.お子さまは、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか 【個の状況に応じた支援】	47.5%	31.3%	6.6%	2.8%	11.8%
4.お子さまは、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか 【望ましい学習集団の育成】	42.8%	34.4%	8.1%	4.1%	10.6%
5.お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか 【児童生徒への適切な評価】	46.5%	32.7%	7.6%	1.4%	11.8%
6.お子さまは、「学習のきまり」をしっかり守るように指導されていると思っていますか 【学習規律の定着】	53.2%	31.3%	3.5%	0.7%	11.3%
	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	思わない	わからない その他

【結果について】

今年度は、6項目の質問のすべてにおいて、肯定的評価（「そう思う」・「だいたいそう思う」を合わせた評価）が80%前後という結果となりました。その中では【2. 学習内容の習得】（83.0%）と【6. 学習規律の定着】（84.5%）において、比較的高い評価をいただきました。全クラスで取り組んでいる「学習のきまり」（チャイムとともに始まる授業、授業の初めと終わりのあいさつ、授業中は立ち歩かない等）はもちろん、学校全体として、国語科の授業研究を中心に「対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる子どもの育成」をテーマとして、取り組みを進めてまいりました結果が、このように一定の評価をいただいた要因であると考えます。

しかし、今年度も授業参観等を実施して、児童の様子を直接見ていただける機会が多くはありませんでした。そのため、今年度はすべての質問項目において、「わからない・その他」の回答が非常に多く、昨年度に比べて5~7ポイントも増加しました。その結果、「わからない・その他」を除いた回答の内容について、昨年度と比較してみると、特に「そう思わない」の割合が減少しており、ほとんどの項目においては、前年度に比べて肯定的回答の割合が増加していることもわかりました。これからはアンケートの実施時期や周知も含めて、ほとんどの児童が授業だけではなく、さまざまな場面において頑張っている様子を見ていただける機会を設定してまいります。

「対話すること」は、「学びを深めること」につながっており、学校生活や集団生活をするうえでもとても大切なことです。今後とも、「相手の話をしっかりと聞き、自分自身の学びを深める力」の育成に向け、教員の授業力や指導力を向上させるべく、取り組みを進めてまいります。そして「個に応じた支援」をもとに「望ましい集団作り」については、積極的に取り組みを進めてまいります。「子どもたちが主体的に学び、対話を通して学びを深めていける授業」の達成に向けて、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業を行うことはもとより、今年度の本校の授業研究のテーマ「対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる子どもの育成」をめざした授業づくりを進め、児童へのよりきめ細かな指導を行ってまいります。

● 本校教員は、児童の「確かな学力」の定着のために、児童の笑顔があふれるよりよい授業に向けて、教材や指導法の研究や外部からの講師を招いての研究授業、そして日常の授業観察等の指導を通じて、「授業改善」には、これまで以上に取り組んでまいります。保護者の皆様には、日頃からお子さまに「家庭学習（宿題や自主学習等）」を初めとして、さまざまな働きかけを行っていただきまして、ありがとうございます。今後とも本校の教育活動に対するご支援やご協力をいただき、さらなる連携を深めてまいりたいと考えておりますので、なにとぞ、よろしく願いいたします。